

# 原爆ドーム保存 広島市に100万円

## 「ムクダ」が贈呈

世界遺産・原爆ドーム(広島市中区)の前身、県産業奨励館にゆかりのある内装資材卸会社「ムクダ」(同市南区)は21日、原爆ドーム保存事業向けの寄付金100万円を市に贈呈した。

同社は、前身の建設会社「椋田組」が1915年完成の同館(完成当時は県物産陳列館)の建設に関わった経緯があり、創業105年の節目の今年、ドームを後世に残していけるよう寄付



松井市長(前列右)に寄付金を贈呈した椋田社長(同左)(広島市役所で)

金を贈呈することを決めた。

この日は椋田裕士社長らが市役所を訪れ、松井一実市長に目録を手渡した。松井市長は「保存事業に入札する企業がなかなかいないのは悩みだが、貴重な浄財を大切に使いたい」と述べた。

松井市長から感謝状を受け取った椋田社長は「原爆ドームは建設から100年以上がたち、あれだけの被害もあった。平和の考え方も変わっていく中、皆が寄り添う場所として残していく一助となれば」と話していた。